

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【001】	4	p. 236	生命倫理の善行の原則とは？	必 修	41-B-006
【002】	2, 5	p. 237	インフォームドコンセントとは？		41-A-020
【003】	5	p. 238	インフォームドコンセントが必須な内容は？	基 本	44-A-024
【004】	2, 5		改正臓器移植法における臓器提供の要件は？		43-A-023
【005】	5	p. 239	保健所の役割		40-A-017
【006】	4	p. 240	厚生労働省の管轄する業務	基 本	42-A-018
【007】	4		WHO憲章における健康の定義	基 本	44-A-017
【008】	2		主な死因別にみた死亡率の年次推移の読み取り	必 修	42-B-004
【009】	1	p. 241	15～19歳の死因統計の1位	必 修	42-B-012
【010】	3		わが国の高齢者(65歳以上)人口の割合	必 修	43-B-004
【011】	5		疾病構造の変化で増加傾向にあるものは？	基 本	43-A-017
【012】	3	p. 242	医療計画における5疾病	必 修	40-B-004
【013】	4		医療計画における「5疾病」以外の疾病の選択	基 本	43-A-016
【014】	1		日本の病床数は欧米先進国と比べて多い	基 本	44-A-019
【015】	2, 3	p. 243	医療法上の病床分類とは？		41-A-018
【016】	4		医療法で定められていない施設は医療提供施設ではない	必 修	44-B-004
【017】	2, 4	p. 244	精神障害者の入院形態		40-A-016
【018】	4		精神科病院への入院形態で家族などの同意が必要なのは？	基 本	44-A-016
【019】	4		労働者の安全と健康管理		41-A-017
【020】	2	p. 245	国民医療費に含まれる費用は？		43-A-018
【021】	3		後期高齢者の一部負担金は1割である	基 本	44-A-018
【022】	1		介護保険の担当行政組織	必 修	41-B-004
【023】	3	p. 246	社会保障と担当行政組織の正しい組合せは？		40-A-019
【024】	1		被用者保険とは？		41-A-016
【025】	2	p. 247	社会保障を構成する要素	基 本	42-A-019
【026】	4		高齢者虐待で多いのは？		41-A-019
【027】	1		高齢者虐待防止法に明記されている通報窓口となる機関	基 本	42-A-089
【028】	2	p. 248	児童虐待で最も多い加害者は？		43-A-019
【029】	4		生活保護費が最も多い扶助は？		40-A-018
【030】	4		特別養護老人ホームを規定する法律	基 本	42-A-017
【031】	2	p. 249	蛋白質合成を行う細胞小器官	基 本	42-A-001
【032】	3, 4	p. 250	細胞外液中に最も多いイオン		40-A-004
【033】	4		細胞外液に最も多く含まれる電解質	必修・頻出	42-B-002
【034】	3		成人の体液の内訳と体重に対する比率	頻 出	43-A-002
【035】	5	p. 251	血清は血漿から凝固因子の大部分が除かれたもの	基 本	44-A-001
【036】	4	p. 252	細胞内液に最も多く含まれる陽イオンは？	必 修	44-B-001
【037】	4		体液の構成比で血漿にあたるのはどれか？	必 修	40-B-002
【038】	5		膠質浸透圧を形成する物質	基 本	41-A-002
【039】	1	p. 253	解剖学的基本体位(解剖学的正位)は人体を扱う場合の基準の姿勢である	基 本	43-A-003
【040】	2		関節運動の名称を正しく表現する	基 本	44-A-010
【041】	4, 5	p. 254	頸部の構造の説明で正しいのは？		40-A-001
【042】	1		心窩部の領域にある臓器	必 修	44-B-002
【043】	5		外果の部位はどれか？	必 修	41-B-001
【044】	1	p. 255	剣状突起が含まれる骨	必 修	43-B-002
【045】	5		後腹膜に位置する臓器	必 修	43-B-001
【046】	2		体腔でないのは？	基 本	41-A-005
【047】	2	p. 256	生体内の神経伝達物質でないものは？	基 本	42-A-006
【048】	2		延髄に中枢がある機能は？		40-A-007
【049】	2	p. 257	平衡機能と姿勢制御を司る解剖的部位	必 修	40-B-001
【050】	3		平衡機能と姿勢制御を司る解剖的部位	必 修	41-B-002

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【051】	2	p. 258	顔面の感覚を伝える脳神経は三叉神経である	基本	44-A-006
【052】	5		脳神経と機能の組合せ	基本	43-A-004
【053】	1	p. 259	運動機能以外の神経線維をもつ脳神経は？	基本	41-A-010
【054】	2		脊髄損傷における損傷レベルの評価	基本	42-A-033
【055】	1, 5		交感神経系の興奮作用	基本	42-A-002
【056】	2	p. 260	脳灌流圧の算出		41-A-050
【057】	2		脳灌流圧を低下させる要因		40-A-050
【058】	5		視覚器についての構造を正しく理解する	基本	41-A-009
【059】	4	p. 261	視覚経路の順序は？	基本	43-A-005
【060】	4		平衡感覚器は内耳にある三半規管と前庭である	基本	44-A-009
【061】	4		平衡感覚と聴覚器の正しい説明は？		40-A-008
【062】	3	p. 262	気管・気管支の構造	基本	42-A-005
【063】	4		舌圧子を用いて確認できる口腔内の解剖学的構造物	必修	42-B-001
【064】	2		横隔神経の麻痺は上位頸髄損傷で起こる	基本	44-A-008
【065】	1	p. 263	酸素解離曲線はPaO ₂ 値とSO ₂ 値(SpO ₂ 値)の関係を示している	基本	44-A-030
【066】	3	p. 264	PO ₂ とSO ₂ との関係(酸素解離曲線)	基本	42-A-039
【067】	4		PaO ₂ の低下を感知する化学受容体		40-A-009
【068】	5		PaCO ₂ の変化を感知する中枢化学受容体	基本	41-A-008
【069】	4	p. 265	体表から触知できる動脈	基本	42-A-007
【070】	4		体表から触知可能な動脈は？	基本	44-A-002
【071】	3		心音の発生成分について		40-A-002
【072】	3		横紋筋かつ不随意筋で構成される組織	基本	42-A-010
【073】	2	p. 266	全血液量における静脈血の割合	基本	43-A-009
【074】	3		栄養素が吸収される部位	基本	42-A-004
【075】	4	p. 267	十二指腸と空腸の境界は？	基本	44-A-003
【076】	3		食道の構造およびその位置	基本	43-A-007
【077】	1, 3	p. 268	肝臓が合成する物質は？	基本	41-A-006
【078】	5		膵臓と膵液の性質について		40-A-006
【079】	3	p. 269	腎臓の位置と構造	基本	44-A-004
【080】	5		尿路の構造と機能	基本	42-A-003
【081】	5		平滑筋の組織は？		41-A-004
【082】	3	p. 270	最終月経初日を妊娠0週0日として、妊娠週数を算出する	基本	44-A-086
【083】	3		内分泌系の特徴で誤っているものは？	基本	43-A-010
【084】	2	p. 271	下垂体後葉から分泌されるホルモンは？	基本	41-A-001
【085】	4		甲状腺ホルモンの機能		40-A-003
【086】	2, 4	p. 272	核のない血球成分は？		43-A-008
【087】	4		線溶系の因子		40-A-005
【088】	2, 5	p. 273	関節の形状	基本	43-A-001
【089】	2		脊柱の生理的彎曲は頸椎から仙骨部まで前→後→前→後と彎曲している	基本	44-A-007
【090】	5		皮膚固有の受容器をもたない知覚は？	基本	42-A-008
【091】	3	p. 274	成人の基礎代謝量において中枢神経が消費する割合は？	基本	44-A-005
【092】	1, 5		ブドウ糖の好気性代謝における代謝産物	基本	42-A-009
【093】	3		人体の代謝について		40-A-010
【094】	5	p. 275	栄養素について正しいのは？	基本	41-A-007
【095】	5		ミネラルに該当する元素は？	基本	43-A-006
【096】	1	p. 276	ダウン症候群の特徴		41-A-013
【097】	4	p. 277	急性疾患と慢性疾患の区別	必修	43-B-003
【098】	2		慢性疾患に分類されるのは？	基本	44-A-015
【099】	1	p. 278	糖尿病の3大合併症		43-A-012
【100】	2, 4		疾病の一次予防		40-A-014

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【101】	3	p. 278	メタボ健診(特定健康診査)の対象年齢	基本	42-A-013
【102】	2	p. 279	退行性病変に該当する形態的または機能的変化		43-A-014
【103】	4		炎症の急性期は微小循環系の変化と細胞反応からなる	基本	44-A-011
【104】	1	p. 280	ウイルスによる感染症	頻出	42-A-015
【105】	3		疾患とその感染経路で正しい組合せは？		40-A-015
【106】	3		垂直感染の感染様式	基本	43-A-015
【107】	3	p. 281	感染とそのリスクについて誤っているのは？	基本	41-A-014
【108】	1		飛沫核感染の感染経路	必修	42-B-003
【109】	2	p. 282	結核、麻疹、水痘は空気感染を起こす代表的な感染症	基本	44-A-012
【110】	5		循環障害の種類と原因の正しい組合せは？		40-A-011
【111】	3	p. 283	動脈閉塞による壊死をきたしにくい臓器	難問	40-A-013
【112】	2		塞栓症を起こす疾患	基本	42-A-012
【113】	1	p. 284	心臓ポンプ機能の低下で毛細血管内圧が上昇して浮腫を生じる	基本	44-A-013
【114】	4		創傷治癒過程の流れ	基本	42-A-011
【115】	5	p. 285	心臓死の三徴候	必修	41-B-003
【116】	5		死体現象について		40-A-012
【117】	2		死後硬直と死斑の出現	頻出	42-A-014
【118】	3	p. 286	死後、循環が停止したことで血液は重力に従って下方に溜まる	必修	44-B-003
【119】	2, 5		死後2時間でみられる死体現象	頻出	43-A-011
【120】	5	p. 287	明らかな死亡の判断基準で6項目すべてが該当する場合	基本	44-A-014
【121】	2		晩期死体現象とは？	必修	40-B-003
【122】	1	p. 288	異状死体の検案・届出と死体検案書など	難問	41-A-011
【123】	3	p. 289	アドレナリンの薬理作用(α 受容体, β 受容体)	必修	43-B-018
【124】	5	p. 290	重篤なアナフィラキシーに対してはエピペン®投与が絶対適応である	基本	44-A-079
【125】	1, 4		←解説参照 アドレナリンの管理について誤りは？		40-A-044
【126】	4	p. 291	ブドウ糖溶液20mLに含まれるブドウ糖の量	必修	40-B-018
【127】	2		薬とその作用の正しい組合せは？	重要	41-A-045
【128】	2	p. 292	MRIは脳梗塞の超早期から診断が可能	基本	44-A-045
【129】	4		尿簡易検査の所見と原因	やや難問	42-A-044
【130】	4	p. 293	パニック値に該当する検査値		43-A-044
【131】	4	p. 294	覚知から医療機関収容までの時間		40-A-020
【132】	1, 4	p. 295	救急車による救急搬送人員の統計	基本	42-A-024
【133】	3		救命の連鎖で第1の輪は？		40-A-024
【134】	5	p. 296	救命の連鎖(心停止の早期認識と通報)	基本	42-A-025
【135】	4		救命の連鎖における要素の理解	必修	43-B-005
【136】	1	p. 297	救急自動車による救急搬送人員の統計		43-A-021
【137】	4		救急病院の要件に含まれる診療に従事する医師の条件とは？	基本	44-A-025
【138】	1	p. 298	救急医療体制について理解しているか？		41-A-023
【139】	3		救急告示病院の認定者	必修	42-B-005
【140】	5		特定行為はオンラインメディカルコントロールによる具体的指示が必要	基本	44-A-020
【141】	3, 4	p. 299	プロトコールとは？	基本	43-A-022
【142】	1		災害救急対応の活動原則の優先順位	必修	40-B-007
【143】	5	p. 300	多数傷病者への対応	頻出	41-A-022
【144】	2		多数傷病者対応における先着隊の役割	必修	43-B-027
【145】	2	p. 301	災害初動時に最先着救急隊が報告すべき情報はMETHANE	基本	44-A-026
【146】	4		一次トリアージで確認する項目は？	必修	43-B-006
【147】	4	p. 302	一次トリアージでは簡便な生理学的評価により傷病者をふるい分ける	必修	44-B-005
【148】	3		DMAT〈災害派遣医療チーム〉派遣を要請する機関	必修	42-B-007
【149】	1, 3	p. 303	災害医療のキーワード		40-A-021
【150】	1		通報者への胸骨圧迫の指示の条件とは？	必修	41-B-017

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【151】	2	p. 303	通信指令員による心肺蘇生法の口頭指導	必修	43-B-008
【152】	1	p. 304	現場到着後の優先事項	必修	41-B-014
【153】	4		現場活動の流れ(状況評価から救護活動まで)	基本	43-A-027
【154】	5	p. 305	全身熱傷(外傷)傷病者に対する初期評価	基本	42-A-022
【155】	1, 5		救急活動の基本的知識について		41-A-026
【156】	1	p. 306	救急救命処置録に記載不要の事項		40-A-022
【157】	3		DNARの生前意思が提示される傷病者の背景は？	必修	44-B-006
【158】	3, 5	p. 307	DNAR指示とは？		40-A-023
【159】	5		包括的指示により行うことができる救急救命処置は？	必修	43-B-013
【160】	2, 5	p. 308	救急救命士法に定められている「欠格事由」		43-A-025
【161】	5		救急救命士に関連する法的規定	基本	43-A-024
【162】	5	p. 309	心肺停止前に許される救急救命処置	必修	40-B-006
【163】	3, 4		医師の具体的指示が必要な救急救命処置	基本	42-A-021
【164】	2	p. 310	救急救命士法の基本的理念を定めている法令	基本	42-A-016
【165】	2		救急救命士の病院実習の主な目的でないのは？		43-A-020
【166】	1	p. 311	リスクマネジメントとは？		41-A-025
【167】	4		ヒューマンエラーの再発防止策で不適切なもの	基本	42-A-023
【168】	4, 5	p. 312	インシデントに分類される事項		40-A-026
【169】	5		インシデントに相当するのは？	必修	41-B-005
【170】	4		ハインリッヒの法則は「1：29：300の法則」とも言われる	必修	44-B-007
【171】	3	p. 313	ヒヤリハット報告について	必修	40-B-005
【172】	1		医療事故と医療過誤の違いは“医療者の過失の有無”である	基本	44-A-023
【173】	2, 4		標準予防策の骨格	基本	43-A-026
【174】	1	p. 314	空気感染を起こす微生物の選択	必修	43-B-007
【175】	1		N95マスクを装着する必要がある感染症は？	基本	42-A-026
【176】	2, 3		飛沫感染対策が必要な感染症	頻出	41-A-024
【177】	5	p. 315	結核感染者の搬送時の注意点	重要	40-A-025
【178】	4		針刺し事故への対応	必修	42-B-006
【179】	1, 2	p. 316	ストレス障害発生予防の方策とは？		41-A-021
【180】	5		惨事ストレスにおける「隠れた被災者」の背景要因	基本	42-A-020
【181】	1	p. 317	デフュージングは惨事ストレスに伴うストレス発散を目的に曝露後早期に行う	基本	44-A-022
【182】	4	p. 318	脈拍触知部位で血圧低下に伴って触れにくくなる順番は？		40-A-029
【183】	4	p. 319	バイタルサインの適切な評価方法は？	基本	44-A-035
【184】	4		救急現場活動で聴取する現病歴の理解	必修	43-B-015
【185】	2	p. 320	打診により鼓音・濁音などが聴取できる	必修	44-B-011
【186】	3		傷病者観察における第一印象とは？	基本	44-A-021
【187】	5		上気道閉塞時に特徴的な呼吸所見	必修	43-B-012
【188】	4	p. 321	末梢気道の狭窄によって生じる異常呼吸は？	基本	41-A-038
【189】	2		下位頸髄完全損傷に伴う呼吸様式	必修	42-B-008
【190】	2		口すぼめ呼吸を特徴とする病態は？		43-A-032
【191】	1	p. 322	異常な呼吸様式をきたす原因病態		43-A-050
【192】	2	p. 323	大孔ヘルニア—延髄への圧迫—失調性呼吸の流れを理解する	基本	44-A-037
【193】	4		死戦期呼吸は心停止の直前または直後にみられる	必修	44-B-017
【194】	2		成人の頻脈の下限値は？	必修	40-B-013
【195】	5	p. 324	頻脈を呈する疾患	基本	42-A-040
【196】	2		観察所見からGCSスコアを評価する		40-A-031
【197】	3		除皮質肢位はGCSスコアの何点か？	必修	41-B-012
【198】	2		除脳肢位の傷病者の運動による最良の応答(M)は？	基本	43-A-035
【199】	3		p. 325	蕁麻疹の特徴は？	基本
【200】	5	皮膚症状と疾患の組合せで誤りは？		基本	41-A-089

No.	正答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【201】	5	p. 326	瞳孔不同が特徴の病態	必修	41-B-010
【202】	2		瞳孔反応の機序と瞳孔所見の大切さ	難問	43-A-033
【203】	4	p. 327	気管支喘息で観察できる特徴的な呼吸音	必修	40-B-022
【204】	5		機械的イレウスの腸雑音は？		41-A-042
【205】	3, 4		急性虫垂炎に特徴的な圧痛部位	基本	43-A-031
【206】	4	p. 328	ばち指は気管支拡張症・間質性肺炎・肺癌の症候として記憶する		44-A-073
【207】	4		慢性貧血でみられる所見		40-A-028
【208】	4		歩行形態と原因の正しい組合せは？		41-A-033
【209】	5	p. 329	麻痺の種類と疾患の正しい組合せは？		40-A-055
【210】	2		企図振戦をきたす病変部位	基本	42-A-028
【211】	4	p. 330	「神経麻痺」と「運動失調」は厳密に区別できなければならない	基本	42-A-063
【212】	2		髄膜刺激症候に含まれるものは？	必修	41-B-022
【213】	1	p. 331	神経系疾患や精神障害時に出現する言語や行動にかかわる医学用語に慣れる		42-A-078
【214】	2		緊急度・重症度の概念	基本	42-A-032
【215】	3	p. 332	重症以上と判断する根拠		40-A-032
【216】	4		緊急度が高い初期評価所見は？	基本	41-A-031
【217】	3	p. 333	緊急度判定における「準緊急」に該当する識別色	基本	42-A-038
【218】	5		緊急度判定プロトコルには「黒」はない	基本	44-A-034
【219】	1	p. 334	パルスオキシメータの測定原理を理解する	基本	44-A-070
【220】	1	p. 335	パルスオキシメータの波形から考えられる不整脈の読み取り	必修	44-B-013
【221】	2	p. 336	パルスオキシメータで測定できるのは？	必修	41-B-008
【222】	3, 5		SpO ₂ 値とSaO ₂ 値との間に乖離が起こる病態	基本	41-A-037
【223】	5	p. 337	SpO ₂ 値の測定が困難になる病態	必修	43-B-016
【224】	5		パルスオキシメータの脈波は動脈血の吸光度の変動成分である		43-A-043
【225】	5	p. 338	カプノメータはROSCの検知に活用できる	必修	44-B-010
【226】	1, 5	p. 339	カプノメータでわかること		41-A-028
【227】	2		カプノメータでは評価できないもの	基本・重要	42-A-030
【228】	3		正常なカプノグラムの呼気相	基本	43-A-041
【229】	2	p. 340	聴診器のベル面は何の音を聴取するのに適しているか？	基本	44-A-031
【230】	1		聴診器の正しい取扱い方法	基本	42-A-042
【231】	5	p. 341	聴診ではコロトコフ音のどこを聞いているのか？		40-A-036
【232】	5		救急資器材の測定原理	基本	42-A-035
【233】	2		オシロメトリック法自動血圧計の測定に影響を与える要因	必修	42-B-014
【234】	4	p. 342	血圧測定について	必修・頻出	41-B-009
【235】	3, 4		基線の揺れの原因	重要	40-A-034
【236】	2		アーチファクトの原因	必修	41-B-011
【237】	4	p. 343	標準単極胸部誘導で第5肋間鎖骨中線に装着する電極は？	基本	44-A-033
【238】	2		刺激伝導系に平行する誘導法	重要	40-A-033
【239】	4		標準単極胸部誘導の装着部位	基本	42-A-041
【240】	4	p. 344	心電図モニターの誘導	必修	43-B-009
【241】	3		体温が低く測定される部位	必修	40-B-017
【242】	5		鼓膜体温計について		40-A-037
【243】	3, 5	p. 345	鼓膜体温計の測定原理と測定における注意点	基本	43-A-039
【244】	3		血糖測定の適応はJCSII桁以上を目安とする	必修	44-B-009
【245】	1	p. 346	血糖測定結果に影響しない要素		40-A-041
【246】	5		血糖測定を行う意識レベルは？	必修	40-B-014
【247】	1		血糖測定の適応	必修・頻出	42-B-018
【248】	1	p. 347	血糖測定のための穿刺部位		40-A-040
【249】	4		血糖測定時の注意点	頻出	42-A-034
【250】	5		血糖測定時の穿刺部位の第一選択は？	必修	42-B-009

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【251】	5	p. 348	穿刺後に十分な血液が得られない場合の対応	頻 出	43-A-042
【252】	2		血糖測定を行う際のアルコール消毒で注意すべき点	基 本	44-A-029
【253】	2	p. 349	経鼻エアウェイが適切な病態	必 修	41-B-013
【254】	2		経鼻エアウェイの適応	必 修	43-B-011
【255】	2		各種気道確保器具の合併症で誤っているのは？	基 本	43-A-038
【256】	1	p. 350	意識のない気道異物の傷病者に対しては直ちに胸骨圧迫を行う	必 修	44-B-015
【257】	1		構造にカフが付いていない声門上気道デバイス	基 本	42-A-027
【258】	1	p. 351	喉頭展開時に視認できる解剖学的構造	難 問	43-A-037
【259】	4		ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管の特徴	基 本	41-A-027
【260】	3	p. 352	ビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管挿管の適応は？	基 本	44-A-041
【261】	5		気管挿管のために喉頭鏡のブレード先端はどこに挿入するか？	必 修	44-B-008
【262】	3	p. 353	リザーバ付きフェイスマスクの構造と使用方法で誤りは？	基 本	41-A-034
【263】	4		吸入酸素濃度を100%にできる酸素投与方法は？	基 本	43-A-028
【264】	4	p. 354	リザーバ付きフェイスマスクは高濃度の酸素供給が可能である	基 本	44-A-038
【265】	1, 2		バッグ・バルブ・マスクによる過剰換気の留意点		40-A-048
【266】	4	p. 355	頸髄損傷による呼吸抑制をきたした傷病者への対応	必 修	42-B-025
【267】	3		成人と乳児で共通している一次救命処置は？	必 修	44-B-012
【268】	5	p. 356	胸骨圧迫について	基 本	41-A-041
【269】	2		「JRC蘇生ガイドライン2015」に準拠した胸骨圧迫	基 本	43-A-030
【270】	4	p. 357	救急救命士が行う心肺蘇生法	頻 出	43-A-029
【271】	5		小児用AEDについて	頻 出	41-A-043
【272】	4		心肺蘇生法で幅の狭いQRS波出現時の対応	必 修	40-B-012
【273】	4	p. 358	静脈路確保で橈骨神経損傷を起こす危険性のある穿刺部位	必 修	42-B-010
【274】	3		成人への輸液に用いる輸液セットの滴数は？	必 修	42-B-011
【275】	2	p. 359	救急救命士による輸液の適応から除外されるのは？	重 要	40-A-030
【276】	4		心臓または呼吸機能停止が対象になる救急救命処置は？	必 修	41-B-007
【277】	1	p. 360	ショック輸液の適応でない病態	基 本	43-A-054
【278】	5		救急救命士による自己注射について	必 修	40-B-015
【279】	5	p. 361	自己注射が可能なアドレナリン製剤の副作用	必 修	41-B-015
【280】	1		自己注射可能なアドレナリン製剤の投与方法	必 修	41-B-018
【281】	3	p. 362	アドレナリンを速やかに全身分布させる方法は？	必 修	44-B-014
【282】	3		心肺停止の対応プロトコールで誤りは？	基 本	41-A-036
【283】	3		救急救命士による1回あたりのアドレナリン投与量	基本・重要	42-A-037
【284】	4	p. 363	心停止傷病者に対するアドレナリン投与方法	必 修	42-B-017
【285】	5		アドレナリン投与の適応	基 本	43-A-036
【286】	1	p. 364	「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」標準プロトコール	必 修	43-B-017
【287】	5		救急救命士が投与するブドウ糖溶液の濃度は？	必 修	44-B-018
【288】	5		ブドウ糖溶液の投与について	必 修	40-B-011
【289】	3	p. 365	50%ブドウ糖溶液20mLの投与に費やす時間	基 本	42-A-043
【290】	5		妊娠末期のショック傷病者の搬送体位	必 修	40-B-009
【291】	5		腹壁の緊張が最も少ない体位		41-A-056
【292】	5	p. 366	足側高位(ショック体位)を行うべき病態	必 修	43-B-010
【293】	2		悪寒戦慄を伴う発熱傷病者への体温管理	基 本	42-A-060
【294】	3		ターニケットによる止血処置のポイント	基 本	44-A-043
【295】	3	p. 367	切断指趾の取扱いは頻出である	基 本	44-A-040
【296】	2		車内分娩における臍帯切断方法	やや難問	42-A-075
【297】	1	p. 368	救急隊員による成人への一次救命処置	必修・重要	42-B-013
【298】	2, 4		成人に対する適切なCPRを行うための重要なポイントは？	基 本	44-A-039
【299】	5	p. 369	CPR手技とその根拠の組合せで適切でないのは？	重 要	40-A-038
【300】	3		心肺停止の原因解除が救急救命士に可能か否かを判断する	必 修	44-B-019

No.	正答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【301】	4	p. 370	年齢区分に合わせた心停止を判断する脈拍触知部位	基本	44-A-042
【302】	4		開胸式心マッサージの適応	基本	42-A-029
【303】	3		乳児と成人に共通する一次救命処置		40-A-043
【304】	1	p. 371	乳児の救急蘇生法について	必修	41-B-016
【305】	4		乳児に対する心肺蘇生法	基本	42-A-036
【306】	3	p. 372	小児の一次救命処置		40-A-042
【307】	4		救急救命士が行う小児の心肺蘇生法	基本	43-A-034
【308】	2, 3		在宅療法とその適応疾患の正しい組合せ	難問	40-A-039
【309】	4, 5	p. 373	永久気管瘻造設傷病者のチアノーゼ対応処置	基本	41-A-030
【310】	4		気管切開カニューレと各部の役割の正しい組合せは？		41-A-032
【311】	4		COPDで在宅酸素療法による適切なSpO ₂ 値は？		41-A-040
【312】	2	p. 374	在宅酸素療法で使用する酸素濃縮器の取扱いの理解	基本	44-A-027
【313】	3		在宅酸素療法を行っている傷病者の至適SpO ₂ 値は90%	必修	44-B-016
【314】	5	p. 375	慢性腎不全患者の呼吸困難の原因で最も可能性の高いものは？	必修	43-B-014
【315】	3		ボディメカニクスからみた傷病者搬送法での誤りは？	基本	40-A-035
【316】	2, 5	p. 376	ボディメカニクスの基本	頻出・重要	42-A-031
【317】	1		傷病者の移乗を前提としたボディメカニクスの基本姿勢	基本	44-A-028
【318】	2	p. 377	救急隊員2名による徒手搬送	必修	40-B-016
【319】	2, 3		←解説参照 意識障害傷病者の適切な徒手搬送法		41-A-035
【320】	5	p. 378	ドクターヘリコプターによる傷病者搬送の注意点		43-A-040
【321】	4	p. 379	閉塞性換気障害をきたす疾患		40-A-046
【322】	5	p. 380	PaCO ₂ 値の上昇が酸塩基平衡異常をきたす仕組みを理解せよ		44-A-046
【323】	2	p. 381	酸素化を障害する3種類の病態生理から低酸素血症の発症機序を考える		44-A-053
【324】	2	p. 382	低酸素血症の原因	難問	41-A-046
【325】	5	p. 383	呼吸運動を障害する原因部位		43-A-047
【326】	2	p. 384	肺内シャント増加が原因で低酸素血症をきたす疾患		42-A-054
【327】	3	p. 385	肺胞低換気は低酸素血症をきたす原因病態の1つ	頻出	44-A-091
【328】	1		換気機能障害の3型について		43-A-048
【329】	3	p. 386	左心不全の原因		41-A-047
【330】	1		左心不全における前負荷の影響とは	基本	43-A-051
【331】	5		緊急度の高い心不全症候	必修	40-B-019
【332】	3	p. 387	体循環系のうっ血でみられる症候	必修	43-B-020
【333】	5		左心不全の徴候	必修	41-B-019
【334】	5	p. 388	右心不全を伴わない左心不全の症候		42-A-052
【335】	5		肺うっ血とスターリングの原理	頻出	42-A-053
【336】	2	p. 389	高拍出性心不全の原因	難問	40-A-053
【337】	1		高拍出性心不全の原因		41-A-049
【338】	2		感染の合併は慢性心不全を急性増悪させる	基本	44-A-048
【339】	3	p. 390	右心不全を伴うショック		41-A-051
【340】	2, 4		ショックの症候から原因を予想する	基本	43-A-052
【341】	3	p. 391	循環血液量の計算と推定出血量の計算方法		43-A-110
【342】	3		代償反応としてのレニン-アンギオテンシン-アルドステロン系を理解する	重要	44-A-049
【343】	3	p. 392	大量出血に対する分泌系の反応は？		42-A-047
【344】	4		投与された乳酸リンゲル液の体内分布	必修	43-B-019
【345】	1		出血性ショック時のホルモン		40-A-098
【346】	3	p. 393	左心房圧を上昇させる要因を循環の3要素で考えよう	重要	44-A-047
【347】	2	p. 394	心タンポナーデの病態	必修	40-B-028
【348】	4		心外閉塞・拘束性ショックの原因	必修	40-B-020
【349】	5		血液分布異常性ショックの特徴		40-A-054
【350】	1	p. 395	血液分布異常性ショックは他のタイプのショックとどう違うのか	必修・頻出	42-B-021

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【351】	1	p. 395	徐脈を伴うショックをきたす疾患の考え方	頻 出	42-A-046
【352】	2	p. 396	敗血症性ショック		41-A-048
【353】	1		意識と意識障害	やや難問	43-A-049
【354】	2	p. 397	一次性脳病変と二次性脳病変の症候の違いは正反対	基 本	44-A-057
【355】	5		頭蓋内圧を上昇させる要因を知ること	基 本	44-A-051
【356】	5	p. 398	クッシング徴候とは？	基 本	41-A-088
【357】	2		慢性頭蓋内圧亢進の三徴		42-A-051
【358】	3		頭蓋内圧亢進症によるクッシング徴候は国試に必出	必修・頻出	44-B-020
【359】	2		頭蓋内圧を上昇させる因子	必修・頻出	40-B-021
【360】	5	p. 399	血流量増加による頭蓋内圧亢進症		40-A-049
【361】	4		脳血流を増加させる原因病態とは？	頻 出	42-A-050
【362】	4		目撃のある心原性心肺停止傷病者の統計(救急蘇生統計)の現況	基 本	44-A-050
【363】	3	p. 400	心肺停止後の社会復帰率が高いのは？	頻 出	41-A-054
【364】	1		心肺停止蘇生後の傷病者の日常的・社会的機能をカテゴリー分類する		44-A-054
【365】	2	p. 401	心停止の原因と心室細動の原因	基本・頻出	41-A-052
【366】	2		臓器の虚血許容時間		41-A-053
【367】	3	p. 402	呼吸停止が先行する心停止の原因	必 修	41-B-021
【368】	3		心肺停止時の体内の酸素化状態は予後を決定する	基 本	43-A-053
【369】	2		心拍再開時の徴候		40-A-047
【370】	5	p. 403	低心拍出量による心肺停止の原因疾患	必 修	42-B-019
【371】	5		心停止と末梢組織の低酸素症		40-A-051
【372】	5		心肺蘇生中の冠灌流圧	頻 出	43-A-046
【373】	4	p. 404	胸骨圧迫中の臓器血流		40-A-052
【374】	1		胸骨圧迫中の冠循環と脳循環の理解が重要	頻 出	44-A-052
【375】	5	p. 405	胸骨圧迫の効果の増強因子となるもの	基 本	42-A-048
【376】	4	p. 407	二次性脳病変による意識障害の発症機序に注目	必 修	42-B-020
【377】	4		一次性脳病変とは何か	必 修	43-B-021
【378】	4		二次性脳障害による意識障害		42-A-070
【379】	2	p. 408	意識障害の随伴症状とその原因の正しい組合せは？		40-A-071
【380】	2		意識障害の随伴症候とその原因の正しい組合せは？		41-A-068
【381】	3	p. 409	意識障害をきたす疾患の特徴的な神経所見		42-A-071
【382】	5		徐脈を伴う意識障害の原因		41-A-055
【383】	4	p. 410	バイタルサインの観察時に徐脈に気づいた場合には注意が必要		44-A-068
【384】	3	p. 411	体温異常を伴う意識障害の原因		43-A-068
【385】	5		意思の疎通が可能な病態		40-A-065
【386】	5	p. 412	脳疾患による失語と精神障害の症候との違い	難 問	43-A-087
【387】	3, 4		閉じ込め症候群の意思疎通の方法		43-A-055
【388】	4		痛覚がない頭蓋内組織は？		40-A-056
【389】	3	p. 413	3種類の一次性頭痛の特徴は国試に頻出する	頻 出	44-A-056
【390】	2		群発頭痛の特徴	頻 出	41-A-067
【391】	4	p. 414	頭痛の原因にならないのは？		41-A-072
【392】	5		頭痛の発症様式は緊急度判断に重要	頻 出	43-A-067
【393】	4		片頭痛に伴う症候(随伴症候)	頻 出	42-A-069
【394】	2, 5	p. 415	←解説参照 眼瞼下垂は動眼神経麻痺が原因	難 問	44-A-065
【395】	4		全身性痙攣によって生じる病態	基 本	41-A-060
【396】	2	p. 416	観察所見による痙攣の名称		40-A-064
【397】	3		全身性痙攣中の傷病者の病態と徴候		43-A-059
【398】	2		5分以上持続する全身性痙攣は緊急度の高い痙攣重積状態である	必 修	44-B-023
【399】	1, 4	p. 417	全身性痙攣傷病者への対応		41-A-064
【400】	5		全身性痙攣を起こした傷病者への対応	基 本	42-A-059

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【401】	3	p. 417	交叉性麻痺をきたす病変部位は橋にある	必修・難問	43-B-023
【402】	1	p. 418	脳幹出血(橋出血)は深昏迷・両側縮瞳・四肢麻痺が特徴	必修	44-B-025
【403】	3		四肢麻痺をきたす頭蓋内出血は脳幹		42-A-056
【404】	5		麻痺と障害部位の正しい組合せは？	基本	41-A-059
【405】	2		p. 419	運動麻痺の種類と原因疾患・障害部位を確実に理解する	必修
【406】	3		トッド麻痺とは？		41-A-058
【407】	4		小脳失調は体幹部の動揺(姿勢制御できない)と歩行障害(失調歩行)		44-A-059
【408】	5	p. 420	失神性めまいの原因疾患	頻出	42-A-067
【409】	3		中枢性めまいとすべき症候		40-A-066
【410】	5		めまいは末梢性か、中枢性かの判別が大切で、搬送先医療機関が違う	頻出	44-A-063
【411】	1		p. 421	めまいの原因となる小脳出血	頻出
【412】	2		蝸牛症状に含まれるもの	基本	42-A-097
【413】	4		呼吸困難の判別方法	やや難問	43-A-057
【414】	5	p. 422	呼吸音の異常の種類(喘鳴,ラ音,摩擦音)とその原因疾患は国試に必出	基本	44-A-060
【415】	2		上気道狭窄と吸気性呼吸困難は必須の知識	必修・頻出	42-B-022
【416】	4	p. 423	吸気性喘鳴を伴う呼吸不全をきたすのは？	必修	41-B-020
【417】	5		呼気性呼吸困難一吸うは易く吐き出し難い	頻出	42-A-066
【418】	2	p. 424	呼吸困難の随伴症候で緊急度が高いのは？	基本	40-A-070
【419】	4		喀血をきたす病態	基本	40-A-069
【420】	3		大量喀血をきたす頻度が高い疾患は？	基本	42-A-061
【421】	5		p. 425	喀血傷病者で最優先の確認事項	必修
【422】	3		喀血の2大原因と搬送時の留意点		43-A-065
【423】	2		動悸に伴う失神は心肺停止の原因となる	基本	43-A-062
【424】	3	p. 426	失神の原因としての薬剤	頻出	43-A-066
【425】	2		失神の原因とその誘因を分類する	必修	43-B-022
【426】	5	p. 427	徐脈が原因の失神	重要	41-A-070
【427】	4	p. 428	発症状況から心血管性失神(心原性失神)を予測する		42-A-058
【428】	1	p. 429	3種類の失神の分類とその原因は国試に頻出する	基本	44-A-072
【429】	1	p. 430	神経調節性失神には発症の誘因がある	基本	44-A-055
【430】	2		失神の随伴症候で緊急度が高いのは？		40-A-067
【431】	5	p. 431	胸痛における痛みの伝導路と疾患の関係	頻出	43-A-063
【432】	5		狭心痛の表現は傷病者によってさまざまである	難問	43-A-072
【433】	4	p. 432	発症の仕方や随伴症候から胸痛の原因疾患を考える	頻出	42-A-062
【434】	1		深呼吸で痛みが増すのは胸膜が擦れあうからである		44-A-071
【435】	4		p. 433	胸痛が咳で増悪し前傾姿勢で軽減する疾患	頻出
【436】	5		内臓痛に分類される胸痛		40-A-063
【437】	5	p. 434	病院で緊急処置が必要な胸痛		40-A-061
【438】	5	p. 435	緊急度・重症度が高い胸痛の特徴を知っておく	重要	44-A-066
【439】	3		p. 436	重症度が高い胸痛の訴え	基本
【440】	5		始まりと終わりがはっきりした短時間の動悸(不整脈)	頻出	42-A-064
【441】	5	p. 437	振戦を伴う動悸を訴える疾患		41-A-057
【442】	5		動悸の随伴症候で緊急度が高いのは？		40-A-068
【443】	3	p. 438	体性痛としての腹痛をきたす疾患		40-A-060
【444】	4		疾患には好発年齢や性差があることを考慮して傷病者のイメージをもつ		44-A-064
【445】	4	p. 439	「女性の下腹部痛」の緊急度判断では卵巣嚢腫捻転を念頭に置く		44-A-075
【446】	3		マーフィー徴候を証明できる疾患		40-A-059
【447】	2, 5		女性の腹部に突然の激痛をきたす疾患		41-A-078
【448】	2, 5		p. 440	アルコール依存症の傷病者に生じる腹痛	
【449】	4		左下腹部痛と血性下痢をきたすのは？	難問	40-A-091
【450】	3		反跳痛を証明できる疾患	頻出	41-A-066

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【451】	1	p. 441	下血の原因となる消化管の部位		40-A-058
【452】	3		黄疸を伴う吐血の原因	必修	41-B-024
【453】	5		タール便を特徴とする消化系疾患	基本	41-A-062
【454】	1	p. 442	タール便はトライツ靱帯より口側の上部消化管からの出血を意味する	頻出	44-A-058
【455】	2		下痢や下血時の便の性状と特定の疾患との関連性	頻出	42-A-072
【456】	5	p. 443	吐血の発症状況と性状による原因の予測		43-A-056
【457】	5		下肢への放散痛を伴う腰背部痛の原因は？		42-A-055
【458】	5		移動する胸背部痛は急性大動脈解離の特徴的症候。国試必出	必修	44-B-022
【459】	2, 5	p. 444	腰背部痛で緊急度が高い所見		40-A-057
【460】	1		悪寒戦慄は発熱のどの時期に出現するか？		40-A-062
【461】	4		シバリングは感染症の重症化を意味する		43-A-070
【462】	4	p. 445	発熱は体温調節中枢による合目的な生体反応。高体温は機能障害が原因		44-A-062
【463】	2	p. 447	感覚性失語に特徴的な徴候	難問	41-A-095
【464】	5		一過性脳虚血発作について正しいのは？		40-A-084
【465】	3	p. 448	一過性脳虚血発作は意識障害はないが、脳梗塞の前触れ		43-A-093
【466】	3		出血の対側の片麻痺と病巣に向かう共同偏視は被殻出血の重要な症候	頻出	42-A-077
【467】	2		脳出血は危険因子と出血好発部位と部位別症候の特徴(国試頻出)が重要		44-A-074
【468】	5	p. 449	ウイルス性髄膜炎の特徴		41-A-084
【469】	2		髄膜炎の症候に伴わないのはどれか？	頻出	42-A-068
【470】	1		てんかんで異常放電が生じている大脳の部位		40-A-072
【471】	3	p. 450	てんかんは痙攣の原因の1つ。症候性てんかんは脳疾患が原因		44-A-069
【472】	3		パーキンソン病に特徴的な振戦	基本	40-A-077
【473】	4	p. 451	中枢神経系の変性疾患ではパーキンソン病とアルツハイマー病が大事		44-A-092
【474】	2		急性喉頭蓋炎について正しいのは？		40-A-074
【475】	1		喉頭蓋炎による腫脹と疼痛はどのような症候をきたすのか	頻出	42-A-083
【476】	5	p. 452	気管支拡張症の特徴的な症候		40-A-086
【477】	4		肺炎の発症状況から呼称はさまざまである		43-A-075
【478】	1, 3		胸膜炎の特徴的な症候	頻出	41-A-092
【479】	2, 4	p. 453	自然気胸の観察所見	基本	42-A-081
【480】	5		呼吸性アルカローシスによる低カルシウム血症		42-A-084
【481】	4		急性心筋梗塞発症後の超早期死亡の原因は不整脈	必修	42-B-024
【482】	1		心筋炎の原因がウイルス感染にあることは国試に出題するほど重要か？		44-A-078
【483】	4	p. 454	QT延長症候群は薬剤でも発症する		43-A-078
【484】	4		P波の存在は洞結節からの刺激による心房収縮があることを意味する		41-A-074
【485】	4	p. 455	VFに移行する危険な不整脈は3種類		42-A-049
【486】	5	p. 456	危険性が高い(致死性)不整脈の名称と実際の波形は国試に最重要！	頻出	44-A-097
【487】	4		洞停止の心電図波形はどれか？		40-A-097
【488】	3	p. 457	P波とQRS波との関連性やPQ間隔・R-R間隔に着目する		43-A-089
【489】	5		心電図所見と胸痛の特徴から原因疾患を予測する		42-A-065
【490】	3	p. 458	急性心筋梗塞の心電図は経時的に変化する	難問	42-A-076
【491】	5		心電図波形の意味	基本	41-A-003
【492】	3		心電図から心拍数を計算する	基本	41-A-039
【493】	1	p. 459	心電図の基本波形の成分	必修	42-B-015
【494】	3		心電図の基本波形の電気生理学的意味を理解する	頻出	43-A-083
【495】	2		不規則な脈拍が持続する不整脈の名称は？	必修	40-B-008
【496】	4	p. 460	心室頻拍出現時の対応		40-A-027
【497】	5		心電図波形の観察によって行うべき処置	基本	41-A-071
【498】	5		傷病者が示す洞頻脈による脈拍異常の表現		43-A-061
【499】	2, 3	p. 461	下肢深部静脈血栓症は発症の危険因子が重要		42-A-092
【500】	4, 5		閉塞性動脈硬化症について		41-A-079

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【501】	4	p. 462	急性四肢動脈閉塞症について		40-A-082
【502】	1, 4		急性阻血による徴候はコンパートメント症候群よりも急速である	頻 出	42-A-096
【503】	2		肺血栓塞栓症は国試に頻出する疾患	頻 出	43-A-095
【504】	3	p. 463	高血圧緊急症の原因疾患と症候の組合せで誤りは？	重 要	40-A-078
【505】	5		食道静脈瘤の傷病者にみられる腹部所見	必 修	42-B-016
【506】	1	p. 464	救急領域での3種類の食道疾患の発症要因と症候は重要		44-A-087
【507】	1		アニサキス症について		41-A-081
【508】	4		胃・十二指腸潰瘍は発症原因は同じだが、症状の出方が少し異なる	頻 出	44-A-088
【509】	1	p. 465	絞扼性イレウスの判別方法		43-A-077
【510】	4		腸閉塞は腸管内腔の閉塞のこと。イレウスは腸管麻痺のこと		44-A-067
【511】	2		下部消化管穿孔の原因は大腸穿孔を考える	基 本	43-A-060
【512】	1	p. 466	急性ウイルス性肝炎の3型は症候や臨床経過が異なるので区別する		42-A-080
【513】	5		急性膵炎の原因と症候の特徴は必須の知識	基 本	44-A-061
【514】	5		胆石症の痙痛発作について	頻 出	41-A-082
【515】	2	p. 467	胆石症は国試に頻出する疾患。すべてを覚える	頻 出	43-A-092
【516】	2		肉眼的血尿をきたす疾患	必 修	40-B-024
【517】	2	p. 468	補助腎臓療法は2種類ある		43-A-085
【518】	2, 4		尿管結石の特徴		40-A-087
【519】	3		尿管結石は痙痛と観察所見で推定できる		43-A-071
【520】	2	p. 469	尿管結石といえば血尿、血尿といえばまず尿管結石	基 本	44-A-093
【521】	2		骨盤内感染症について		40-A-093
【522】	4		子宮筋腫の随伴症状		40-A-080
【523】	5	p. 470	あまり知られていない疾患。国試に初出		42-A-088
【524】	5		1型糖尿病と2型糖尿病との違いは重要である。国試に頻出！	頻出・重要	44-A-090
【525】	2, 3	p. 471	糖尿病の合併症		41-A-015
【526】	3		インスリンの標的臓器とは？		41-A-077
【527】	4	p. 472	ベットボトル症候群の病態		40-A-075
【528】	1		高浸透圧高血糖症候群の特徴		43-A-076
【529】	4, 5		低血糖が疑われるときにする質問は？		40-A-083
【530】	5	p. 473	糖尿病治療中の傷病者に起こる低血糖に注意		42-A-085
【531】	5		多尿・口渇・大きく深い呼吸の原因は？	必 修	40-B-026
【532】	4		アルカローシスとなる病態	基 本	43-A-013
【533】	3	p. 474	疾患と酸塩基平衡異常の正しい組合せは？		41-A-012
【534】	3		低張性脱水による症候は高張性脱水と対比させて理解する	重 要	42-A-074
【535】	2, 4	p. 475	←解説参照 嘔吐は胃酸の喪失にほかならず代謝性アルカローシスを起こす		44-A-080
【536】	4		痛風と腎障害について		43-A-080
【537】	1, 3	p. 476	るいそうの原因		41-A-086
【538】	3, 5		ビタミン名とその欠乏症との関連は簡単なので間違えないように		42-A-086
【539】	5	p. 477	貧血の症状は酸素供給量の減少と代償反応の2つの機序で生じる	必 修	43-B-024
【540】	3		貧血は血液希釈による症状と代償機転による症候が混在する	必 修	44-B-026
【541】	1	p. 478	貧血の症状	難 問	41-A-093
【542】	4, 5		血液酸素含有量はヘモグロビン濃度と酸素飽和度で決定される		43-A-081
【543】	4, 5	p. 479	アナフィラキシーの発症誘因と病態、症候は重要	重 要	43-A-091
【544】	2		←解説参照 アナフィラキシーについて	必修・頻出	41-B-026
【545】	5		アナフィラキシーはアレルギーとしての症候を伴う	必 修	44-B-021
【546】	5	p. 480	アナフィラキシーの発症機序、症候の特徴は国試に頻出	頻 出	44-A-095
【547】	2, 3		腰部脊柱管狭窄症も閉塞性動脈硬化症も間欠性跛行がある		42-A-091
【548】	2, 5	p. 481	椎間板ヘルニアの好発部位		40-A-088
【549】	1, 2		頸椎椎間板ヘルニアについて		41-A-094
【550】	5		椎間板ヘルニアの症候は左右片側に起こる		44-A-082

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【551】	5	p. 482	化膿性と書かれた病名はすべて細菌感染によるもの		43-A-094
【552】	3		皮膚の観察所見と疾患・病態の関連についての設問は国試に必出する	基 本	44-A-084
【553】	4	p. 483	突然発症の視覚障害は眼痛を伴うか否かが判別に重要	頻 出	43-A-096
【554】	2, 4		鼻出血への初期対応		40-A-085
【555】	2, 5		わが国の結核事情	基 本	42-A-094
【556】	4	p. 484	季節性インフルエンザについて		40-A-095
【557】	5		世界的感染拡大(パンデミック)をきたす要因はヒトである		43-A-088
【558】	5		5類感染症は定点把握感染症として流行状況など動向調査が行われる		44-A-076
【559】	5	p. 485	病原菌を毒素型と感染型に分類することで潜伏期の長短の判断になる	基 本	42-A-079
【560】	2		食中毒は、毒素型と感染型で病原菌が違う	頻 出	44-A-081
【561】	3	p. 486	食中毒の原因		41-A-076
【562】	1		疥癬について誤りは？		40-A-081
【563】	2	p. 487	ガス壊疽でみられない症候	頻 出	41-A-097
【564】	1		小児の発達段階における特徴	基 本	42-A-087
【565】	2, 5		小児のバイタルサインの特徴	基 本	42-A-095
【566】	3	p. 488	乳児の呼吸数の正常範囲	必 修	42-B-026
【567】	3		小児の生理機能について		40-A-076
【568】	5		小児の成長に伴う形態変化について		40-A-089
【569】	5	p. 489	小児の細菌性およびウイルス性髄膜炎は国試によく出題される		44-A-085
【570】	1		乳児突然死症候群の危険因子ではないのは？		41-A-096
【571】	2		SIDSの発症要因は疫学的事実に基づいている		44-A-089
【572】	1		小児の急性喉頭蓋炎は緊急度が高く、重要疾患。国試に必出	必 修	44-B-024
【573】	4	p. 490	SIDSの疫学的知識を理解する		43-A-086
【574】	2		腸重積の発症年齢・症候の特徴・予後について	必修・頻出	43-B-026
【575】	2, 4	p. 491	気管支喘息の重症度	必修・頻出	41-B-025
【576】	1, 3	p. 492	児童虐待について		41-A-075
【577】	3, 4	p. 493	被虐待児ではないか、と疑うための観察所見の知識は欠かせない		42-A-073
【578】	4		単純型熱性痙攣と複雑型熱性痙攣の違い		43-A-090
【579】	3		腸重積について		40-A-090
【580】	5	p. 494	腸重積について	頻 出	41-A-091
【581】	3		被虐待児症候群の疫学的知識は重要	重 要	43-A-084
【582】	5	p. 495	加齢による変化について	頻 出	41-A-080
【583】	3		高齢者搬送が増えているので加齢に伴う身体機能の変化は国試に出題される		44-A-077
【584】	4		高齢者への話しかけ方で適切でないのは？		40-A-092
【585】	3	p. 496	高齢者特有の疾患には誘因がある		43-A-082
【586】	1		高齢者の急な環境変化(入院時など)に最も留意する病態		42-A-090
【587】	3	p. 497	認知症には中核症状と行動と心理症状とがある		43-A-097
【588】	3		認知症の中核症状は4つある	必 修	43-B-025
【589】	1	p. 498	認知症の周辺症状にあたるのは？		41-A-083
【590】	4		妊娠中に循環血漿量が最も多くなるのはいつか？		40-A-094
【591】	3	p. 499	妊娠週数と胎児体重の目安、分娩予定日の計算など		44-A-083
【592】	2		分娩予定日の概算方法		43-A-074
【593】	2	p. 500	異所性妊娠で最多の着床部位		40-A-079
【594】	2		妊娠高血圧症候群の定義と合併しやすい疾患について		42-A-082
【595】	5		緊急帝王切開の適応		41-A-090
【596】	2	p. 501	分娩中に起こる呼吸困難と意識障害は重篤なサイン		43-A-073
【597】	2		娩出直後に啼泣を認めない新生児への対応で優先すべきことは？	基 本	44-A-036
【598】	3	p. 502	車中分娩に備えるべき時期	頻 出	41-A-085
【599】	1	p. 503	精神障害を正しく分類できないと正答できない	難 問	44-A-096
【600】	5	p. 504	自殺企図が疑われる傷病者へのコミュニケーションの要点	基 本	44-A-094

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【601】	5	p. 504	自殺企図者への対応で適切でないのは？	基本	40-A-073
【602】	3	p. 505	興奮した傷病者への正しい対応	基本	41-A-087
【603】	2		興奮した傷病者を鎮めるための対応	基本	43-A-079
【604】	5	p. 506	解離性障害の傷病者にみられる特徴		43-A-058
【605】	2		パニック発作は身体症状を伴う強い不安感が突然起こる		42-A-093
【606】	5	p. 507	外傷の疫学と外傷システム	基本	42-A-114
【607】	5	p. 508	搬送人員の最も多い外傷の事故種別は？	基本	44-A-112
【608】	4		病院前医療で外傷死の三徴を防ぐ唯一の手段は低体温にさせないこと		44-A-101
【609】	3	p. 509	早期外傷死は「防ぎ得た死」の大多数を占める		44-A-103
【610】	5		ロードアンドゴーの判断所見	基本	40-A-106
【611】	5		トラウマ(外傷)バイパスの概念	必修	42-B-028
【612】	3	p. 510	介達損傷による大腿骨のらせん骨折		42-A-112
【613】	4		減速機序による損傷	頻出	41-A-099
【614】	1		体腔内で固定が緩い臓器が減速機序で損傷される		42-A-105
【615】	3	p. 511	高リスク受傷機転が疑われたら「ロードアンドゴー」を念頭に置く	必修	44-B-027
【616】	3		創と傷とを使い分ける	基本	44-A-104
【617】	2		創傷と成傷器の組合せ	基本	42-A-107
【618】	3	p. 512	多発外傷の定義を明確にしておく		43-A-101
【619】	5		運転手の受傷機転と損傷形態の正しい組合せは？		40-A-109
【620】	4	p. 513	特殊な受傷機転と損傷臓器の関連	頻出	43-A-112
【621】	2, 4		爆傷の第1段階で起こる損傷		40-A-110
【622】	5	p. 514	生体侵襲時の代償反応にかかわるストレスホルモンと昇圧系	重要	43-A-113
【623】	3, 5	p. 515	損傷に対する全身的(炎症)反応とは？		40-A-101
【624】	1, 4		不可逆性ショックと外傷死の三徴		42-A-113
【625】	2, 3	p. 516	緊張性気胸と心タンポナーデは常にその存在を心に留め置くこと	基本	44-A-102
【626】	3	p. 517	外傷に伴うショックについて	必修	41-B-029
【627】	4		心外閉塞・拘束性ショックの原因は3つある	必修	43-B-029
【628】	2	p. 518	症候から推定する出血量の算定		41-A-100
【629】	2	p. 519	大量出血時の生体反応	頻出	41-A-107
【630】	4	p. 520	大腿骨骨幹部骨折による出血量の推定	必修	41-B-027
【631】	5	p. 521	状況評価は事故覚知から傷病者接触までに行う評価	必修	44-B-029
【632】	3		外傷の現場で初期評価と同時に行う処置	基本・重要	42-A-100
【633】	2, 3	p. 522	外傷の現場活動について		40-A-107
【634】	4		外傷の観察所見と病態の推定で正しい組合せは？	必修	40-B-027
【635】	4	p. 523	観察所見に対応した適切な処置の組合せは？	基本	41-A-103
【636】	3		外傷傷病者に対する適切な現場活動	必修	41-B-028
【637】	5	p. 524	重症外傷傷病者に対する初期評価および全身観察の手順の理解	基本	44-A-111
【638】	5		一次性脳損傷は治療により回復させることができない		42-A-106
【639】	3	p. 525	硬膜の破綻の有無が開放性と閉鎖性脳損傷の区別をする		44-A-108
【640】	2		急性硬膜外血腫の特徴は意識清明期があることである		43-A-100
【641】	5		びまん性脳損傷の要約		43-A-109
【642】	4	p. 526	頭頸部外傷での緊急度判断所見	必修	40-B-010
【643】	1		眼窩吹き抜け損傷による眼症状は重要で、国試に頻出する	頻出	43-A-106
【644】	2		眼窩吹き抜け骨折の特徴的所見		41-A-104
【645】	2	p. 527	鼻骨骨折は顔面骨骨折のなかで最も多い		44-A-105
【646】	3		眼球の穿通性損傷に対する処置		40-A-120
【647】	3		脊椎損傷の受傷機転と病変の正しい組合せは？		40-A-104
【648】	5	p. 528	頸椎・頸髄損傷は国試に頻出する	頻出	42-A-098
【649】	1, 5		脊髄損傷の特徴的所見		40-A-111
【650】	5	p. 529	頸髄損傷の特徴的徴候	必修	40-B-023

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【651】	5	p. 529	損傷された頸髄髄節のレベルと上肢運動機能障害の関係	やや難問	43-A-069
【652】	4	p. 530	胸部外傷には多数の損傷形態があるのでそれぞれの詳細な知識をもつ		44-A-114
【653】	2, 5		心タンポナーデの症候は国試に頻出!	頻 出	42-A-111
【654】	4		心タンポナーデの症候は国試に頻出する	頻 出	43-A-104
【655】	5	p. 531	腹部鈍的外傷後の換気不全の原因		40-A-112
【656】	5		外傷性窒息の原因と症候発症機序を理解する	必 修	42-B-029
【657】	2, 5		緊張性気胸の観察所見	基 本	41-A-073
【658】	4	p. 532	墜落外傷で生じる大動脈損傷の好発部位		40-A-102
【659】	3, 5		胸部外傷での観察所見と病態の正しい組合せは?		41-A-106
【660】	4	p. 533	視診では異常を観察できない胸部外傷	基 本	41-A-113
【661】	1		外傷後に出現する血液分布異常性ショックは大腸損傷(…略…)を疑う		43-A-108
【662】	3	p. 534	腹膜炎をきたす腹部損傷臓器	必 修	40-B-029
【663】	4		腹部臓器損傷による病態		43-A-114
【664】	3	p. 535	実際の傷病者の観察手順と方法を想定して訓練を重ねるしかない	基 本	44-A-099
【665】	1, 4		骨盤骨折についての知識		40-A-108
【666】	4	p. 536	骨盤骨折は安定型と不安定型の見極めが重要。現場での対応が違う	重 要	44-A-107
【667】	5		不安定型骨盤骨折は大出血を起こすので出題頻度が高い	頻 出	43-A-103
【668】	2	p. 537	骨盤骨折を疑わせる観察所見	基 本	41-A-108
【669】	4		骨盤骨折の現場処置と搬送の留意点は国試に頻出する	頻 出	43-A-105
【670】	5		骨盤専用固定具により止血が期待できる骨盤外傷	基 本	42-A-104
【671】	5	p. 538	疲労骨折が生じやすい部位		40-A-113
【672】	4		クラッシュ症候群の病態について	基本・頻出	41-A-112
【673】	2, 4		皮膚軟部組織の特殊な損傷形態	頻 出	41-A-111
【674】	3, 5	p. 539	コンパートメント症候群の初期症状	基 本	42-A-101
【675】	2, 4		コンパートメント症候群は発症からの症候に時間的順序がある	重 要	44-A-106
【676】	5		四肢外傷の救急現場での処置は国試に頻出する	頻 出	43-A-099
【677】	5	p. 540	出血を伴う四肢外傷の適切な処置	基 本	41-A-109
【678】	1, 2		小児に特徴的な四肢外傷	基 本	42-A-102
【679】	5	p. 541	小児外傷の特徴		40-A-099
【680】	3, 5		乳幼児揺さぶられ症候群の特徴的損傷とは?		41-A-102
【681】	5	p. 542	乳幼児揺さぶられ症候群は角加速度機序による脳損傷の典型		44-A-098
【682】	3, 5		骨粗鬆症が原因で骨折しやすい部位		40-A-096
【683】	3		受傷した高齢者の特徴を理解しておく		42-A-109
【684】	1, 5	p. 543	高齢者の外傷は搬送頻度が高いのでその特徴をとらえておく	頻 出	43-A-102
【685】	5		高齢者の骨折は骨粗鬆症が基盤になっている。好発骨折がある	基 本	44-A-113
【686】	4	p. 544	妊婦外傷の特徴と留意点		41-A-101
【687】	5		腹部を打撲した妊婦で起こりうるのは?	必 修	40-B-025
【688】	3	p. 545	皮膚徴候によって熱傷の到達深度を推定する	必 修	43-B-028
【689】	3		9の法則による熱傷面積の算出	必 修	42-B-027
【690】	2		熱傷の重症度の判断に熱傷面積の算出は必須		43-A-098
【691】	2	p. 546	9の法則による熱傷面積の計算は救急救命士必須の知識	基 本	44-A-100
【692】	5		アルツの基準で中等度熱傷とは?	基 本	41-A-110
【693】	4		熱傷予後指数の算出方法	基 本	41-A-114
【694】	3	p. 547	熱傷の評価方法	基 本	42-A-103
【695】	4		熱傷の重症度を表す数値的指標に熱傷指数と熱傷予後指数がある	必 修	44-B-028
【696】	1, 2		重症度熱傷の判断基準		40-A-105
【697】	4	p. 548	II度以上の熱傷で緊急度が高いと判断される部位は?	基 本	44-A-110
【698】	2, 3		熱傷傷病者への対応		40-A-100
【699】	4	p. 549	熱傷傷病者への対応	基 本	42-A-108
【700】	5		化学損傷による症候は化学物質によって特徴がある	頻 出	42-A-110

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【701】	4	p. 549	低カルシウム血症をきたす化学物質	頻 出	40-A-114
【702】	5	p. 550	強酸による化学損傷とフッ化水素酸の特殊性		43-A-111
【703】	1		アルカリによる化学損傷の処置は汚染除去と大量の流水による洗浄	基 本	44-A-109
【704】	4, 5	p. 551	絞頸に頻度の高い特徴的観察所見		41-A-105
【705】	1		動物咬傷の特徴を覚える		43-A-107
【706】	3	p. 552	マムシ咬傷の特徴		41-A-098
【707】	2		マダニ咬傷による感染症	やや難問	42-A-099
【708】	5		骨格筋麻痺をきたす刺咬症		40-A-103
【709】	3	p. 553	頻出する中毒物質はその特徴的な症候を熟知する	頻 出	44-A-117
【710】	3	p. 554	中毒死で最多の原因物質		40-A-119
【711】	2		医薬品による中毒死の原因薬剤		41-A-118
【712】	3		中毒物質とその症候の正しい組合せは？	頻 出	40-A-118
【713】	1	p. 555	各種中毒に特有の症候	頻 出	42-A-116
【714】	2		毒物・薬物の投与経路による血中濃度の違い		43-A-119
【715】	3, 4	p. 556	心電図の波形異常をきたす外傷と中毒		41-A-029
【716】	2		一酸化炭素中毒傷病者への対応	必 修	42-B-030
【717】	4	p. 557	無臭の中毒物質	必 修	40-B-030
【718】	1		塩素ガスと硫化水素は家庭での誤った使用で発生する危険がある		44-A-120
【719】	1	p. 558	ガス中毒は二次汚染に注意	必 修	44-B-030
【720】	2		急性エタノール中毒の症候はその血中濃度で決定される	必 修	43-B-030
【721】	5	p. 559	コカインの規制法律		43-A-045
【722】	1	p. 560	常識で考えれば正答するのは易しい	基 本	42-A-119
【723】	5		異物による上気道閉塞をきたした傷病者に対して最初に行うべき対応は？		43-A-116
【724】	1	p. 561	異物による上気道閉塞の観察所見	基本・頻出	41-A-061
【725】	5		気管の閉塞と気管支の閉塞とは症候が全く異なる		44-A-115
【726】	3, 5	p. 562	食道異物による症候		41-A-119
【727】	2		潜水反射の意味と臓器保護としての役割		43-A-117
【728】	3		溺水の疫学について		40-A-117
【729】	1, 4	p. 563	溺水の病態		41-A-115
【730】	2		暑さ指数における厳重警戒の基準	基 本	42-A-117
【731】	5		熱中症による高体温		41-A-063
【732】	3, 4	p. 564	高齢者に生じる熱中症の特徴		43-A-120
【733】	2, 3		Ⅲ度熱中症の症候		41-A-120
【734】	4		熱中症の重症度分類と症候	頻 出	42-A-120
【735】	1	p. 565	熱中症について	必 修	41-B-030
【736】	1		偶発性低体温症の誘因と病態		40-A-116
【737】	—		不適切な出題		44-A-116
【738】	3	p. 566	エックス線とは？		41-A-044
【739】	4		β線は紙を透過するがアルミニウムなどの薄い板は透過しない	基 本	44-A-119
【740】	2	p. 567	放射線被ばくによる確率的影響とは？		42-A-045
【741】	1, 2, 5		←解説参照 急性放射線障害を受けやすい臓器		40-A-045
【742】	5	p. 568	急性放射線障害の症候	基 本	40-A-115
【743】	1		致死的高線量被ばくによる急性期の症候とは	基 本	42-A-115
【744】	5		致死的な被曝放射線量	基 本	43-A-115
【745】	2	p. 569	放射線の晩発障害には白内障、悪性腫瘍(白血病など)がある	基 本	44-A-044
【746】	2, 3		GM式サーベイメータが測定する放射線とは？		41-A-117
【747】	5		脳浮腫と肺水腫の出現は重症高山病で出現する		43-A-118
【748】	3	p. 570	水面への急速浮上で起こる減圧症と動脈ガス塞栓症とを区別する		44-A-118
【749】	2		酸素濃度の安全限界	基本・重要	42-A-118
【750】	4		搬送中に凍傷部位を加温することは禁忌である		41-A-116